

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 野村鍍金 福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市柳津町3丁目3番19号

(3) 業種

2464  
電気めっき業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成23年度を基準年度とし、平成24年度から平成29年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成23年度	平成29年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	5,883	5,683 -3.4	5,353 9.0	5,148 12.5	5,461 7.2	5,162 12.3	5,352 9.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	5,883	5,683 -3.4	5,353 9.0	5,148 12.5	5,461 7.2	5,162 12.3	5,352 9.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	売上金額に比例して推移している状態と推測。 大きな削減はできていないが、コンプレッサーのインバータ化や蛍光灯・投光器等のLED化がすこしずつ 進んできている。今後もより一層改善活動に取り組む必要がある。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 売上金額(単位:百万円)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成23年度	平成 年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	0.9176	-100.0	0.9467 -3.2	0.9485 -3.4	0.9383 -2.3	0.9191 -0.2	0.901 1.8
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	A重油使用量を10%削減	蒸気配管の保温カバー劣化更新
2	電気使用量の削減	電気使用量を2%削減	冷暖房温度の適正管理 工作機械の空転時間削減 照明が必要ない時間帯の消灯
3	5S、ムダ取り活動	小集団活動	省エネ、省電力を含むあらゆる ムダ取り活動等の実施
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。